

令和6年6月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	令和6年6月11日（火） 午後4時00分～午後5時00分
場 所	青葉区役所4階会議室及びWeb会議
出席者	<p>【議長】 内田みほこ議員</p> <p>【議員：10名】 田中ゆき議員、山下正人議員、伊藤くみこ議員、横山正人議員、藤崎浩太郎議員、行田朝仁議員、おさかべさやか議員、赤野たかし議員、小島健一議員、青木マキ議員</p> <p>【説明局員：25名】（青葉区：23名） 中島区長、真船副区長、青木福祉保健センター長、壺井福祉保健センター部長、綱河土木事務所長、宇多消防署長、ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>1 令和6年度 青葉区内の主要な事業について (区政推進課 資料1)</p> <p>2 青葉区制30周年事業進捗について (区政推進課 資料2)</p> <p>その他</p> <p>1 青葉警察署管内の情勢について (青葉警察署 資料3)</p> <p>2 青葉区火災・救急状況（令和6年5月31日現在） (青葉消防署 資料4)</p>
報告事項1	令和6年度 青葉区内の主要な事業について
発言の要旨	<p>資料1に基づき、区政推進課から報告</p> <p>山下議員 子どもの通学路の交通安全対策事業では、藤が丘小学校が交通安全推進校になっており、ハード・ソフトの面から交通安全対策を実施することだが、当校の学区において、横断歩道が薄くなっているとか、スクールゾーン協議会からここは危ないので信号をつけてくれとか、様々な要望が出ている。当校は交通安全推進校なので、そこは全てクリアされているという理解でよろしいか。</p> <p>石島土木事務所副所長 現在、藤が丘小学校では、事業の実施概要を整理するのと併せて、スクールゾーン協議会とも協議を行っており、その意見も踏まえながら、ハード面・ソフト面の施策を整備していく予定である。</p> <p>山下議員 当校は、交通安全推進校なので、特にハード面はスクールゾーン協議会からの要望を満たしているということで良いか。</p>

石島土木事務所副所長	できる限り要望を満たせるように調整したいと考えている。
山下議員	交通安全推進校になった地域は少なくとも横断歩道のかすれているところがないようにしてくれないと、次は手を挙げないと思う。学校にもそれなりの負担がかかると思うので、特にハード面をしっかりと整備してほしい。
石島土木事務所副所長	土木事務所できるところ、また警察できるところがあるので、負担をしっかりと、施策を進めていきたいと考えている。
山下議員	お願いします。
赤野議員	子育てしたいまちの推進モデル地区について、前回の議員団会議でも質問が出たと思うが、具体性がなく事業の中身が見えてこない。現在の状況について教えてほしい。
井波区政推進課担当課長	前回の議員団会議で質問が出た、事業目標、指標、効果の検証については、政策局からまだ具体的な話がない。一方で、個々の要素を担う学校の朝の居場所づくり、周辺の歩道環境整備などについては地域の方に個々に説明をしながら少しずつ進んでいる状況である。
中島区長	具体的には、美しが丘小学校と美しが丘東小学校の登校前の児童の受入れに向けて調整が進んでいたり、夏休みの放課後キッズクラブの活動中に、昼食提供の調整を行ったりしている。さらにハード面では、美しが丘公園北側の歩道を小さいお子さん連れが歩きやすいように再整備を進めている。
赤野議員	6月に入り、区の広報誌にもこの件は掲載されている。地元の方が全く知らないわけではないが、子育てに関わるいろいろな方に説明ができるレベルまではまだ到達していないというのが私の率直な感想である。モデル地区として掲げたからには、子育てに関連したグループ活動をしている方も含め広く周知し、丁寧に説明していかないと、その意味が住民の方に広く浸透しないまま終わりがねないので、もう少し丁寧に行ってほしい。
中島区長	事業そのものは局が中心になって行うが、区役所は地域の皆様とのつなぎ役であるので、今後、局の事業が固まった際には、区役所として積

	<p>極的に、それを必要とされている方すべてに伝えることができるように努力していきたい。</p>
赤野議員	<p>局主導であることは分かるが、きめ細かなフォローという面では、区役所がしっかり入り、フォローしてほしい。</p> <p>推進モデル地区という言葉は重い。何をしてくれるのだろうかという地元側の受け止めが多いので、それに対するものが打ち出されないと、せっかくモデル地区としていたにもかかわらず、何だったのだろうかという事で終わりがねない。</p>
田中議員	<p>市立小学校向けペロブスカイト太陽電池を用いた環境出前授業について聞きたい。これは、大体どのくらいの学年の児童を対象に、どのような方法で行われているのか教えてほしい。</p>
高向区政推進課長	<p>小学校への出前授業は、主に5・6年生の皆様を対象に行っている。説明者として桐蔭学園の池上教授をお招きし、脱炭素に関する説明や再生可能エネルギーについての説明をした上で、実際にペロブスカイト太陽電池に触れる体験ができるような出前講座を行っている。</p>
田中議員	<p>5・6年生だと、なぜ脱炭素が必要なのかを含めて、池上先生の授業で学ぶことができると思う。子どもたちが家で学んだことを伝えているなどの波及効果についての情報は取れているのか。</p>
高向区政推進課長	<p>子どもから家庭に持ち帰り、地域に広げていくことを期待しているが、出前授業を始めたばかりなので、家庭にどれほど浸透しているかというのはまだ聞いていない。できるだけ効果については検証していきたい。</p>
田中議員	<p>現在、国内外でペロブスカイト太陽電池の動きがすごく大きくなってきており、青葉区発の技術で、しかも青葉区の全小学校で開催されるということなので、ぜひ保護者の方にもアピールできるような効果測定をやってほしい。</p> <p>同じくこのペロブスカイト太陽電池について、今回は小学校向けの授業だが、今後、区民まつり等、様々なイベントで広く市民・区民の皆さんにアピールしていく必要があると思うのだが、その予定はあるのか。</p>
高向区政推進課長	<p>「あおば GREEN DAY」という、GREEN×EXPO 2027の1000日前イベントの2日目に、たまプラーザテラスでペロブスカイト太陽電池の展示を行</p>

	<p>う予定である。また、今後も様々なイベントが予定されているので、それに合わせて桐蔭学園様に協力いただきながら、実際にペロブスカイトに触れて関心を高め、区内に波及していくような取組を進めていきたい。</p>
田中議員	<p>ペロブスカイト太陽電池は、青葉区発のすばらしい技術だと思うので、桐蔭学園との連携も含めお願いしたい。</p>
横山議員	<p>書かない・待たない窓口についてだが、これは電子申請やデジタル化で、家庭にいながら、あるいは場所を選ばずに様々な手続きができるという利便性はあるが、この電子申請にたどり着くまでが大変で、横浜市のトップページを見ても、電子申請に行くタグがなかった。</p> <p>その代わりにあったのは、横浜DIGITAL窓口というタグであり、そこに入っても実は電子申請にたどり着くことはできなかった。それを常任委員会で指摘したところ、すぐデジタル統括本部が改修して、横浜DIGITAL窓口のところに大きく電子申請のタグをつくって、これを押せば横浜市の電子申請に入っていけるようにしてくれた。</p> <p>今、青葉区からの説明を聞いて、青葉区のホームページはどうなっているのかなと調べたら、電子申請の入り口がトップページにないので、青葉区のトップページにも電子申請に入るタグをつくってもらいたい。それが書かない・待たない窓口の入り口ではないか。</p>
中島区長	<p>ホームページをリニューアルする前は初めのほうにあったと思うので、今回のリニューアルで落ちてしまっているのであれば、早急に改修していきたい。</p>
横山議員	<p>デジタルに親和性の高い方がホームページから情報を得ているので、例えば区役所やコールセンターに電話をして、こういう手続きを取りたいという問合せがあったときに、それは電子申請でできますよという回答がすぐできると思う。そのときに利用者の方から、電子申請はどこから入るのかと聞かれたときに、市役所あるいは区役所のホームページのトップページのここを見ていただければ、そこから入れますよとなっていく。</p> <p>100の事業を電子申請化するという事なので、ぜひ電子申請の入り口ははっきりと分かるようにしてほしい。</p>
赤野議員	<p>まちづくりの中で公園整備事業があつていくつかの公園が挙げられているが、公園には様々な形でのボランティアの方々がいる。そういっ</p>

	<p>た方たちの意見を踏まえた上で、再整備工事が決まっているのか。なぜ、この公園が出てきているのか唐突な感じがするのだが、どういう形で意見集約をしているのかを聞きたい。</p> <p>次に、交通についてだが、高速鉄道3号線延伸事業に早期事業着手すとか、恩田元石川線の用地の取得を進めている、これはもうわかっていることである。なので、いつまでに事業を終える予定であるのかを明確にしてほしい。議員団会議の資料だからかもしれないが、誰かに聞かれたときに早期着手いたしますと言っても、具体性がないので、資料の作り込みを含めて、もうちょっと丁寧な説明をお願いしたい。</p>
<p>網河土木事務所 所長</p>	<p>公園の再整備は老朽化して古くなったものを造り替えるという事業になっている。目安としては30年以上経過した公園が対象だが、公園の数も多いため、30年以上経過した公園から、施設の老朽化の状況を踏まえて順次、市内各所の選定をして再整備している。再整備の内容は、例えば遊具の改修をするのであれば、利用者、地域の方の意見を聴きながら事業を行っているが、基本的には、基盤の排水などを含めて古くなったものの再整備をしている。</p>
<p>井波区政推進 課担当課長</p>	<p>高速鉄道3号線延伸事業については、新型コロナによる影響や物価高騰など諸般の事情を整理して、今、国土交通省の大臣認可の手続で時間を要していると聞いている。ただ、現在、局から確認している段階では、整備目標は令和12年から変更されていないので、その目標に向け動いている。</p>
<p>赤野議員</p>	<p>今後はそのような資料も加えてほしい。公園整備事業も、青葉区は比較的新しい街であるが、区制30年を迎えて、様々な場所で老朽化が見受けられると思う。様々な方のご意見を自治会や町内会を通じて聴いているかもしれないが、子育てモデル地区の話も含め、より丁寧に声を聴いた上で、この公園を整備するという形のほうが、区民の方も納得するのではないか。</p>
<p>青木議員</p>	<p>暮らし・防災のところに地域防災拠点の環境整備について記述があるが、令和6年能登半島地震などにより、福祉避難所の課題が顕在化していると考えている。青葉区においても、福祉避難所を増やしていく目標や方針、福祉避難所に指定した後の情報共有というのも今後必要になってくると予測しているが、その対策があれば教えてほしい。</p>

	<p>岸田高齢・障害支援課長 福祉避難所は、能登半島地震を受けて、見直す必要があるかもしれないが、需要は一応満たすのではないかと考えている。ただ、今後、能登半島地震での教訓を参考にしながら、内容を検討したり、協定等を進めることを検討していきたい。</p> <p>青木議員 高齢者施設などは、比較的充実している印象はあるが、障害のある人々に向けた福祉避難所は圧倒的に不足している状況ではないかと考える。能登半島地震のときも明らかになったが、必ずしも福祉避難所が開けるというわけではないので、そのときの対策や、実際に福祉避難所を開くときの対策、福祉避難所が整備して開設に至るプロセスであるとか、そういったところに向けた方針をきちんと持って話し合っていく必要がある。</p>
<p>報告事項2 青葉区制30周年事業進捗について</p>	
<p>発言の要旨</p>	<p>資料2に基づき、区政推進課から報告</p> <p>横山議員 区制30周年関連事業の実施件数が今のところ24件ということだが、これからも新しい関連事業が増えていくという理解で良いか。</p> <p>中島区長 そのとおりである。これから夏まつり等、様々な地域のイベントが始まるので、そのようなイベントを30周年の冠事業にできないか検討してもらっている。</p> <p>横山議員 夏まつりはすべて30周年の冠をつけても私はいいのではないかと思います。また、令和6年度の事業もすべて冠をつければ良い。 先日、あおバリューTVで、新区誕生記念ドラマ「青葉物語」の座談会の模様が放送された。青葉物語は、当時のことを知るには非常に良いものだが、この青葉物語本体が動画サイトに上がっていない。せっかく青葉区制30周年なので、青葉物語本体も動画サイトに上げたり、あるいは上映会を行う等も考えられるのではないかと。</p> <p>中島区長 私も最初に青葉物語を見たときに感動し、いろいろと考えた中の一つが今回の番組になっている。著作権を持っているイツコム株式会社に、何らかの形で区民の方に知ってもらう方法はないか、何かできることはないかと働きかけていて、イツコム株式会社にも検討していただいている。</p>

横山議員	<p>どこかの動画サイトに上げてもらわないと、広く区民が知ることがほぼ不可能なので、工夫をしてくれるとありがたいと思う。</p> <p>青葉区は住宅街なので、ここで産み育ててふるさととなるようなまちづくりを目指しているが、その象徴が、青葉区の誕生した平成6年に生まれた方々である。家族を持って次の世代もこの青葉区で生活をするというように、まさにリレーのランナーのような存在である。区内に小・中学校も多いので、例えば青葉区平成6年生まれ大同窓会など、象徴的なイベントを開催すると面白いと思っているがどうか。</p>
区長	<p>30年というところちょうど仕事をしていたり、結婚や子育てに入ったりという時期になるので、良いアイデアだと思う。今から間に合うかどうかというのが正直あるが、何かできないか模索してみたい。</p>
田中議員	<p>ユニバーサル野球についてのホームページを見て動画を視聴したが、応援する人たちも結構人数がいたほうが盛り上がる。</p> <p>どのような形で、区制30周年の事業としてやっていこうとしているのか、説明してほしい。</p>
岸田高齢・障害支援課長	<p>まず、障害をお持ちの方に関しては、あおば支援学校の在校生を中心に募集する予定である。そのほかの小学生には、広報よこはま等を通じて参加を募り、盛り上がる人数にしたい。</p>
田中議員	<p>今回、なぜユニバーサル野球がここで取り上げられたのか、経緯はいろいろあると思うが、多くの方に参加してもらうことがとても大切だと思うので、ぜひ広報を充実してほしい。今後、青葉区で、例えば高齢者のeスポーツとかボッチャのようにユニバーサル野球を推進していこうという意図があつてのものなのか、これは1回限りのものと考えているのか、教えてほしい。</p>
岸田高齢・障害支援課長	<p>今回の30周年記念と合わせて開催するが、実施した結果、非常に良い効果が得られるようだったら、引き続き開催することも考えていきたい。現時点では1回で考えている。</p>
田中議員	<p>神奈川県内でユニバーサル野球の実施実績が、横浜市ではラポールのみで、ほかは秦野市や海老名市ぐらいだったので、もしやってみて感触がよければ、様々な方がずっとやれるスポーツとして、ぜひ青葉区で実施してほしい。</p>

	<p>赤野議員 区制30周年事業については、区民全体にどの程度浸透しているかという と、まだもうちょっとという感じがしており、機運の醸成という部分 でまだ足りない気がしている。例えば公共交通機関など、目に見えるところで青葉区が区制30周年だという広報をしていかないと、地域活動に関わっている一部の人は知っていても、区民全体には伝わっていかないと危惧をしている。</p> <p>それと、区制30周年を迎えて区は何をしたいといったメッセージ性が、やや薄れてきている気がする。夏まつりを含めていろいろな形でやることはもちろん良いと思うが、それによって何を行政から住民に発信したいのかという部分が足りていない。</p> <p>区長 区民の方々は30万人もいらっしゃるの、今後も広報活動をしっかり行わなければならない。</p> <p>それと、メッセージ性の話だが、30周年実行委員会で今回のテーマは「未来へつなごう 青葉」となっており、未来につないでいくことが一番大事なところであり、広報の中でしっかりと伝えるようにしたい。</p> <p>赤野議員 しっかり打ち出すものは打ち出して、区民の方々に伝えてほしい。</p>
その他1	青葉警察署管内の情勢について
発言の要旨	資料3に基づき、青葉警察署から報告
その他2	青葉区火災・救急状況（令和6年5月31日現在）
発言の要旨	資料4に基づき、青葉消防署から報告